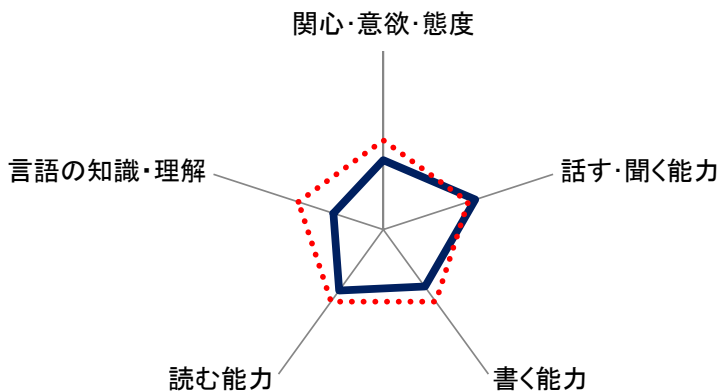


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

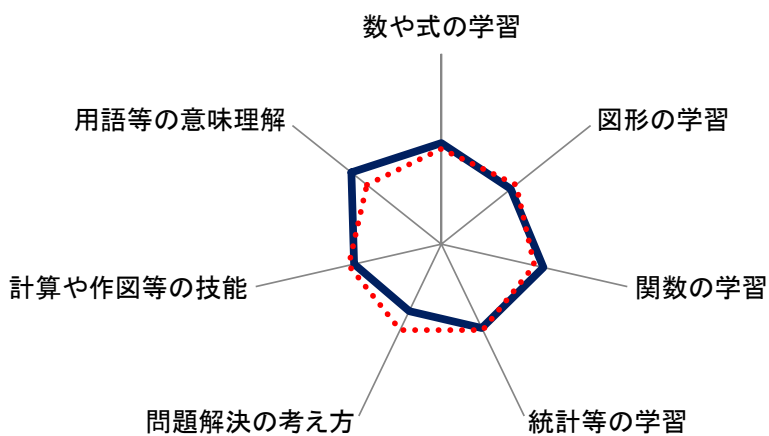
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

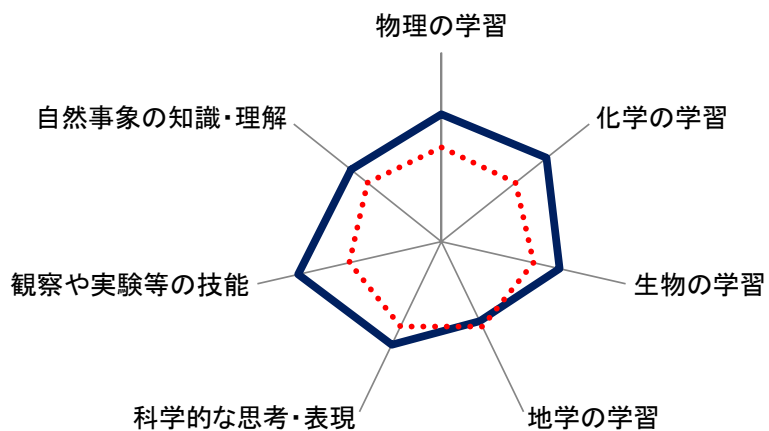
— 町平均
..... 全国平均



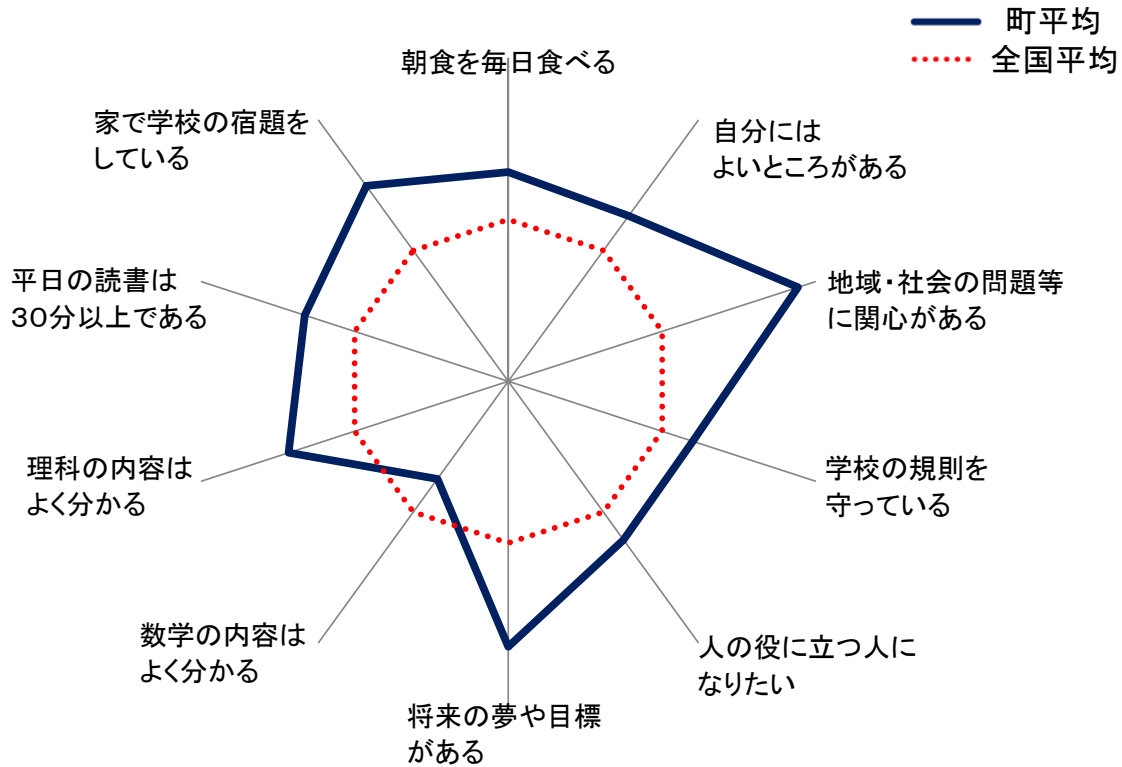
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、理科は、全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、良好な結果である。生徒に「楽しく・分かる授業」の実践に努めている成果が表れている。数学は全国平均とほぼ同じであるが、国語は5項目中4項目で全国平均を下回っている。原因を詳細に分析するとともに、特にB問題において全国平均との差が大きいことから、今後、「活用に関する問題」が意図する授業改善を図ることで、更なる学力の向上と定着に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げているほぼ全ての項目で肯定的な回答が、全国平均を上回っている。特に「地域・社会の問題等に関心がある」や「将来の夢や目標がある」の各項目において良好である。また、小学校で課題のある「平日の読書時間は30分以上である」の項目においては、昨年度に引き続き全国平均を上回っており、中学校において改善されている。「数学の内容がよく分かる」の項目に課題があるため、授業において各単元や本時の目標を明確にするとともに、単元や授業の終末における振り返りにおいて生徒自身が達成状況を確認し、自信をもって学習を継続できる評価を工夫するなどの取組が望まれる。